

石川県生協連だより

第84号

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189
コープいしかわ古府センター2F
TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
http://ishikenren.jp

発行日/2015年1月25日
発行責任者/横山 和男

新年のご挨拶



石川県生活協同組合連合会
会長理事 横山 和男

新年あけましておめでとございます。

さて、当連合会は本年創立50周年という節目の年を迎えます。戦後の混乱期から高度経済成長長期への過渡期の、生活の困難な時期に、全国の生協の再建や設立の動きの中で県内の11の生協によって1966年12月に石川県生活協同組合連合会が創立されました。改めて先人の『志』と『想い』を再確認し、幾多の困難を乗り越え、県内の生協運動の発展に貢献していただいた方々に心より敬意と感謝を申し上げる次第です。

現在は8つの会員生協が加盟し、30万人を超す組合員の組織(体)になっています。生協連は創立以来、会員生協の発展の支援・交流、県内連帯の促進と強化に取り組み、消費者組織として消費者運動にも積極的に取り組み、物価問題・食の安全、環境や平和、くらしと福祉、災害支援など社会的役割発揮の活動をすすめてまいりました。

本年は石川県生協連50年の歴史を踏まえ、未来を展望しながら、会員生協や地域の諸団体、行政の皆様とも連携し、県民のくらしと地域に役立つ活動に積極的に取り組んでまいる所存です。本年も何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



創立総会議案書
1966.12.7



生協連40周年記念第16回石川県生協大会
2006.2.20



環境の取り組み「水生生物調査」に参加する子どもたち 2007年夏



役員研修会
2010.7.3



災害対応図上演習の様子
2012.2.10



県産米粉を使った商品開発事業試食会
2013.12.8

生協連の活動

石川県生協連第49回通常総会開催

●開催日時 2014年6月23日(月)
●開催場所 石川県勤労者福祉文化会館2Fホール

第49回通常総会では、代議員定数44名のところ、本人出席31名、代理人出席2名、書面議決11名で開催されました。来賓の金沢市人権女性政策推進課課長補佐 浅井俊裕氏、石川県労働者福祉協議会理事長 狩山久弥氏、日本生協連関西地連事務局長 辻祥行氏より祝辞をいただきました。

まず、青海万里子専務理事より、2013年度活動報告・決算報告を行い、横川勝巳監事から監査報告が行われました。

次に、専務理事より消費生活支援・防災のための地域ネットワークづくり、震災復興支援を重点課題とした2014年度の活動方針・予算案が提案され、全議案賛成多数で可決決定しました。議案審議では代議員4名より発言があり、審議を深めました。



金沢市
人権女性政策推進課
浅井課長補佐



労福協
狩山理事長



関西地連
辻事務局長



開会挨拶をする横山和男会長理事

発言要旨



① コープいしかわ
奥迫敦子 代議員

▼米粉商品開発会議に参加して
米粉を使った小麦アレルギー対応の商品開発に関わったことは貴重な体験となりました。



② 金沢医療生協
前田正男 代議員

▼金沢医療生協の委員会活動と平和活動
虹の箱委員会で「虹の箱」に寄せられた意見、要望に対応し、利用しやすい事業所づくり、医療や介護内容、サービスの質向上に取り組む活動を進めています。



③ 金沢大学生協
井上美紗子 代議員

▼留学生の大学生活に役立つ店づくり、
交流企画について
大学内で年々増加する留学生の生活を支援するために、留学生の住まいの提供、ハラルメニュー(イスラム教に則った料理)の提供や留学生交流イベントの開催などの取り組みを進めています。



④ 生活協同組合
コープいしかわ
堀口亮一 代議員

▼2014年度活動方針・
予算決定の件について
コープいしかわでは石川県下すべての自治体と「地域の見守りに関する協定」の締結を進めています。「消費者支援ネットワーク」が設立され、消費者市民社会の実現に向けて普及啓発活動の推進に積極的に関わっていきます。



【青海専務理事の答弁】

- ① 食物アレルギーを持つ人、そうでない人が学習しながら商品開発に関わった。消費者参加の商品開発モデルになればと思う。
- ② 組合員の苦情や要望を基にした改善活動は他の生協にも参考になる取り組み。
- ③ 留学生への取り組みは、災害発生時においても役立つさまざまな受援者への対応の基本となる。
- ④ 見守り活動にぜひ他の生協も協力いただきたい。消費者支援ネットワークに団体、個人として加入し、活動を支援していただくようお願いしたい。